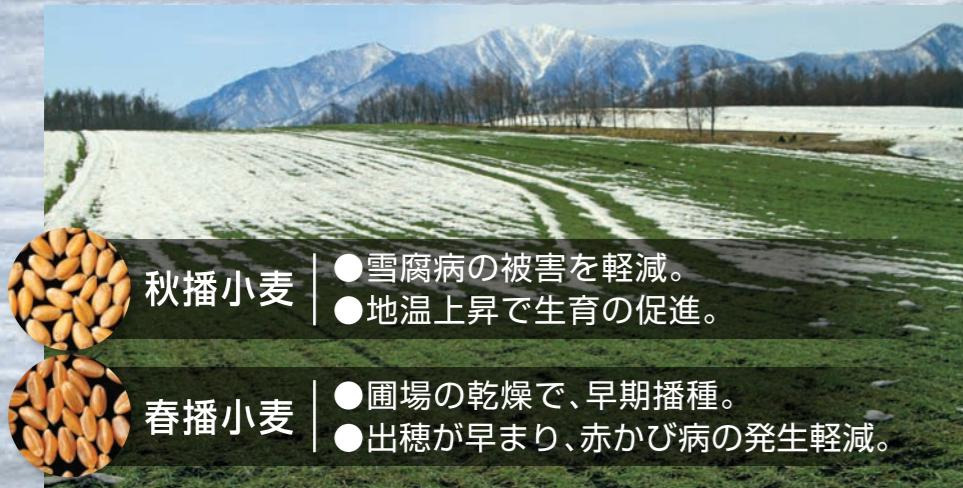


積雪の多いところでは数回の散布を

融雪 春を呼ぼう! 促進

排水対策も万全に!

生育促進と病害の軽減



秋播小麦 ●雪腐病の被害を軽減。
●地温上昇で生育の促進。

春播小麦 ●圃場の乾燥で、早期播種。
●出穂が早まり、赤かび病の発生軽減。

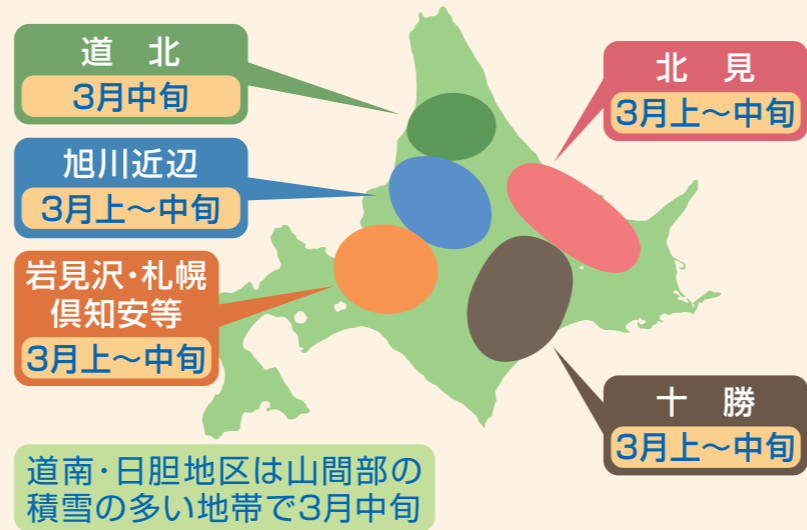
排水促進

- 融雪水は、早期排出。
- 雪上心破を行い、圃場の乾燥を促進。(春播小麦の圃場)



融雪材散布時期の目安

- 日平均気温が、-3℃以上になる頃。
- 20cm以上の降雪の確率が少なくなった時期。
- 散布後に20cm以上の積雪がある場合再散布が必要である。



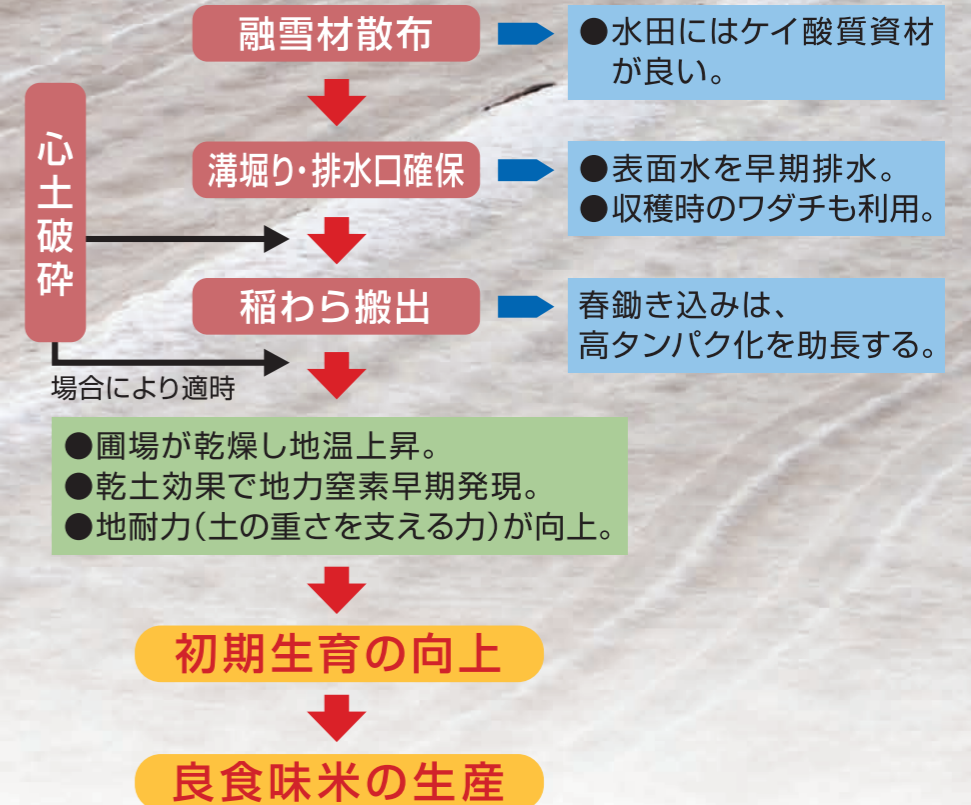
効果

- 融雪資材散布により、融雪は10日以上早まります。

融雪材の散布量

アッシュ等	ケイカル・ミネカル等
40～60kg/10a (2～3袋、80～100リットル)	90～120kg/10a (4～6袋、70～120リットル)
(畑)	(水田)

乾田化のために まずは融雪促進に取り組もう!



北海道・道総研農業研究本部・ホクレン・北集・北海道米麦改良協会

ホームページでもご覧になれます <http://www.beibaku.net/>